

研究情報公開資料（オプトアウト用）

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

| | |
|---|---|
| 研究管理番号 (受付番号) | YCR19027 |
| 1 研究課題名 | Nail Reconstruction in Degloving injury of finger by Twisted Wrap-around flap |
| 2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関) | 研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 手の外科マイクロサージャリーセンター 平瀬雄一 研究分担者 同 大久保ありさ、小野澤久輔、柳下幹夫 |
| 3 研究期間 調査期間 | 研究期間 開始：院長許可後 ～ 終了：2019 年 9 月 1 日 情報等調査期間 開始：2011 年 1 月 1 日 ～ 終了：2019 年 9 月 1 日 |
| 4 研究の背景・目的 ・意義・方法等 | 広範囲の皮膚欠損を伴うデグロービング損傷の爪再建の方法についての術式は確立されていません。我々が確立した TWA flap 法は整容的な爪再建ができるだけでなく、指機能の温存にも役立ちます。過去の症例を詳細に検討して、この方法の有用性と限界について考察し発表します。 |
| 5 研究の対象 となる方 | 2011 年 1 月～2019 年 9 月の間に、当院手の外科マイクロサージャリーセンターで爪再建の手術を受けた |
| 6 <u>試料・情報等の 利用目的、利用方法</u> | 広範囲の皮膚欠損を伴うデグロービング損傷の爪再建の方法についての術式は確立されていません。我々が確立した TWA flap 法は整容的な爪再建ができるだけでなく、指機能の温存にも役立ちます。過去の症例を詳細に検討して、この方法の有用性と限界について考察し発表します。 |
| 7 <u>研究に用いる試料・ 情報の種類(項目)</u> | 手術症例の手術記録、写真、XP などを使用しますが、いずれも個人を特定できない方法で発表します。 |
| 8 <u>試料・情報を利用 する者の範囲</u> | 上記 2 と同じ範囲の者 |
| 9 <u>試料・情報の 管理責任者</u> | 研究管理責任者 |
| 10 計画書等の閲覧 | 研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります |
| 11 その他の開示 すべき情報 | 個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。 |
| 12 お問い合わせ先 | 試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人（あるいは代理人）が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 連絡先所属・氏名 四谷メディカルキューブ 平瀬雄一 住所 東京都千代田区二番町 7-7 電話 03 (3261) 0401 |

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして 6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。